



発行：「NAGASAKI・1945～アンゼラスの鐘～」製作を支援するナガサキの会 TEL.090-3604-2301 (里) FAX.095-849-7131(三根)  
：製作委員会長崎事務局／長崎県映画センター 〒850-0024 長崎市大井手町24番地 TEL095-824-2974 FAX.824-2958

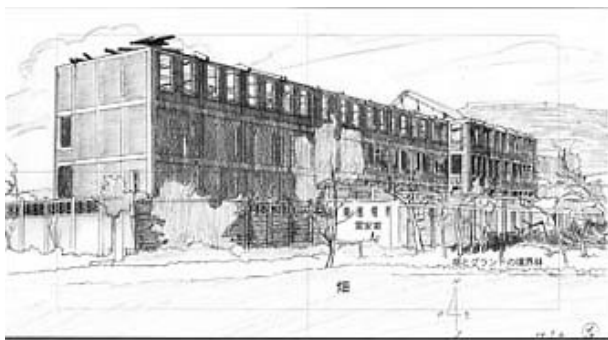
## 映画製作いよいよスタート！！

この間何度か長崎入りしている有原監督は1月14日～17日まで絵コンテの作成準備と作画や美術監督との今後の打合せの前準備を兼ねて再度来崎しました。

14日の夜は支援する会の世話人会に参加され、これまでの取材で描きためたスケッチを投映機を使って見せていただきました。平和推進協会・写真資料調査部会長の深堀さんには、逆に当時の建物や道路の位置関係などを確認しながら、今回の映画の陰の主役となる浦上第一病院についてはそれぞれのシーンごとに描き込まれることになるであろう外観、外回りの様子、特に内部の構造や意匠、平面図と合わせた各階の様子、診察室の窓、机、椅子、ベット、書庫等の配置、更には机や棚の上の診療道具の事などにも及び、この世話人会の様子を取材に来ていた記者さんの中には余りの細かさに、廊下でひと息入れる姿もありました。



この会議の後、食事を交えながらの交流の場で、1つの答えをいただきました。作品全体がリアリティをもって生き生きとしてくるためにはこうした細かな下調べの積み重ねが大変重要な要素であるとのことでした。有原作品の生活感のある絵作りの質を裏付けるお話を伺いました。



※有原監督の取材スケッチ／被爆後の浦上第一病院を昔の写真より書き起こしたもので、今後の作業である絵コンテを作る時の下絵になるものです。

翌15日は半日取材に同行しました。初めに聖フランシスコ病院では当時の事をご存知のシスターや看護師の方に集っていただき提供していただいた写真を見ながら聞き取りが行われました。

次に訪ねたのは山里小学校の校庭の崖に掘られた防空壕、ここは2度目の取材場所。映画の中では校庭で作業をしている先生と子ども達が秋月先生と声を掛け合うシーンがあります。

次に訪ねたのは浦上教会。二つの鐘楼にあった鐘の内一つは近くの川へ吹き飛ばされ、もう一つは教会の中に落ちたようですが、それがどの辺りになるかを知りたくて、被爆当時の破壊された教会の写真を手にお御堂の中の係の方に尋ねておられました。その方も「私が3歳の時のことなので分かりませんが、後日でよければ調べてお知らせしましょう」とのことです。連絡先の交換がありました。



次は聖フランシスコ病院の付近が見下ろせる場所があればとのことでしたので、小江原まで車で上